

予備懇談について

11月11日から、特活・総合の時間に予備懇談を行います。今までの成績と第3回進路希望調査をもとに、担任の先生と二者で全員行います。志望校について話をしますので、担任の先生と話した内容を必ず保護者の方にも伝えましょう。本当に今の志望校が自分に合っているのか、再度しっかりと考えたうえで判断してください。

「周りの子がいくから」「塾や親に言われたから」「なんとなく」など、自分の気持ちを伴わない判断はしないでください。学力、カリキュラム、クラブ、通学時間や方法、行事、進学実績など、重要視したいポイントは人それぞれ違います。

ネットの口コミや評判をもとに判断する人がいますが、それは一部の在校生の一意見にしかすぎません。どちらかと言うと、現状に不満を持っている人が書き込む傾向があるので、マイナスな意見が多いです。それは参考程度にとどめて、あくまでも高校説明会等で自分が得た情報や学校HPなどの公式な情報をもとに判断しましょう。

学校見学会も終盤にさしかかってきています。12月にも入試説明会等を行う高校もあります。まだ私立高校の見学会に一度も参加できていない人は、ぜひ早めに申し込みをしてください。

例年、12月末の三者懇談で下記のようなやりとりがたまにあります。

担任「では、私立受験校はA高校で決定して大丈夫ですか？」

生徒「いえ。A高校以外にしたいと思います。」

担任「え？予備懇談でもA高校を希望と話していたし、これまでの3回の進路希望調査でもずっとA高校だけしか書いてなかったよね？他の高校も考えていたの？」

生徒「これまでは何となくA高校がいいかなあ〜とずっと思ってたんです。

でも、やっぱり、B高校とC高校も良いかなあ〜って思い始めてて。

迷ってるんです……」

大切な進路を決めるのだから、迷う気持ちはよくわかります。でも、真剣に考え始めるタイミングが遅いですね？ずっと複数校考えていて迷っている状態であれば、どちらの高校についての情報もわかっていますし、見学会にも両方いけます。でも、12月中旬になってから、新たに高校を調べるのでは、説明会などが終わってしまっている可能性があります。

何度もお伝えしていますが、12月の三者懇談では私立高校の受験校や方式、コースも含めて決定します。自分が進学して、3年間その学校で過ごすかもしれないことをしっかりイメージし、真剣に受験校を考えましょう。予備懇談後に第4回進路希望調査を実施します。